

人間関係学研究科心理学専攻（臨床心理コース）

1. アドミッション・ポリシー

- ①人の心に対する深い関心と洞察力を持つ人物。
- ②柔軟で安定した対人関係を築くことができる人物。
- ③臨床心理学領域での専門的職業人をめざす意欲と能力を持った人物。
- ④心理学の発展に貢献するために主体的に研究に取り組む意欲と能力を持った人物。

2. カリキュラム・ポリシー

財団法人日本臨床心理士資格認定協会の「臨床心理士」の受験資格取得を満たす教育課程を編成するとともに、ディプロマ・ポリシーの総合的な達成を図るカリキュラム（下記①～⑤の科目から構成）とする。

- ①「臨床心理基礎実習」、「臨床心理実習」など臨床心理面接の実習
- ②「心理療法特論」、「認知行動療法特論」など心理療法関連科目
- ③「発達心理学特論」、「社会心理学特論」など心理学専門科目
- ④「心理学研究法特論」、「心理統計法特論」など研究関連科目
- ⑤研究指導、修士論文作成指導の「心理学演習」

必修科目 24 単位および選択必修科目 10 単位以上、計 34 単位以上を修得し、かつ学位論文（修士論文）を提出し、審査および最終試験に合格することが修了要件である。

3. ディプロマ・ポリシー

以下の能力を備えている者に修士（心理学）の学位を授与する。

- ①臨床心理面接や臨床心理査定に関する理論とスキルを身につけて、それを実践へ移すことができる。
- ②臨床心理学の高度な学識に基づいた柔軟な理解・判断能力を身につけている。
- ③臨床心理学の近接関連領域にたいする持続的な関心と理解力を備えている。
- ④豊かな人間性と、対人援助における倫理観を身につけている。
- ⑤論理的思考能力をもって独創的な成果を研究論文としてまとめる能力を有している。